

絶好の茶摘み日和

神戸新聞北播面(5月12日)

児童と住民が 学校で茶摘み

三草小

加 東

全国的にも珍しく、校内に茶畑が広がる加東市上三草の三草小学校で11日、全校児童と地域住民の計約200人が、晴れ渡った空の下、茶摘みを楽しんだ。この特産品「三草茶」を使った商品開発を目指す社高校（加東市木梨）の生徒3人も加わって世代間の交流も深めた。

同校によると、茶畑は1950年ごろ、戦中戦後の食糧難をしのぐために広がっていたサツマイモ畑など

社高校の生徒と茶摘みを楽しむ児童＝三草小学校



の跡地にできた。広さは約1200平方メートル。教職員とPTAが維持管理し、毎年

茶摘みの会を開いている。茶摘みの前には、子どもと大人が手作りの名刺を交

換し、一緒に唱歌「茶摘み」の替え歌を歌って親睦を深めた。茶畑では良質な茶葉確保のため、新芽の先端から3枚目の葉までを摘む「一芯三葉」を心掛けて歩き回り、参加者全体で47・5キロを収穫した。地区別収穫競争では、ヴィレッツィハウス三草が1人当たり400キロで優勝した。6年生の高瀬浄太郎君(11)は「小学校最後の茶摘みで良い記念になった」。社高生活科学科3年依藤菜鼓さん(17)は「加東市は葉がやわらかくてみずみずしい。茶葉を使ったよい商品ができそうです」と笑顔を見せた。(笠原次郎)

熱中症を心配するほどの好天のもと、多くの皆様にご来校いただき、今年度の「ふれあい茶摘み」を行うことができました。子どもたちをはじめ皆様のご協力のおかげをもって、今年度の収穫量は47.5kgとなりました。

本校の子どもたち、そして保護者や地域の方々にとって、「茶畑のある学校」はふるさとの誇りです。幼い子からお年寄りまで地域が一つになって茶摘みを行う姿を拝見し、三草小のよき伝統を守っていかねばと強く感じました。茶園の管理作業などPTAの皆様のご協力に感謝申し上げます。この後、保護者や地域の皆様へ注文紙をお届けしますので、奮ってのご購入をよろしくお願いいたします。

なお、茶摘み当日が社中学校の部活参観と重なっていて、一部の保護者の方にご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

※茶摘みの映像は5月23日から3日間、KCVのワイドニュースで放送されます。是非ご覧ください。

■ 気象警報発令時の対応の一部改定

近年、台風やゲリラ豪雨により、気象警報が発令されるケースが増えています。加東市では子どもたちの登校前の午前7時の時点で警報が出ていれば「自宅待機」としていましたが、10時までに解除された場合の学校から連絡する児童の登校時刻や各地区での通学班の集合時刻がはっきりしていませんでした。

そこで、①「学校への登校時刻は、警報解除時刻の1時間10分後とする。」②「各地区の通学班出発時刻は、学校登校時刻から逆算（学校までの距離を考慮）して、下記のとおりとする。」こととしました。詳しくは、別途配付します「警報発令時の措置について（改訂版）」をご覧ください。

例) 警報が9:30頃に解除された場合⇒登校時刻は10時40分
 ※各地区の通学班出発時刻

地区名	学校までの所要時間	例) 10:40登校の場合の出発時刻
上三草1班	15分	10:25
上三草2班	10分	10:30
下三草	30分	10:10
木梨	35分	10:05
藤田	35分	10:05
山口・やしろ台	45分	9:55
ビレッジハウス三草	15分	10:25
吉馬	20分	10:20
牧野①(公民館)	15分	10:25
牧野②(緑倉庫)	10分	10:30

■ お知らせとお願い

学校の教職員は、「子どものために」は、教職員が一番大切にしなければいけないことです。そのために、教職員は教材研究や授業準備、行事の計画準備、指導計画の作成など、日々全力で取り組んでいます。当然ながら、子どもにとってのよい教育は心身ともに健康な教職員でしか成し得ず、一人一人の教職員が自身の家庭生活を含むすべての面で、充実していることが大切です。

一方、本年4月から「働き方改革関連法」が順次施行され、学校の教職員も当然に対象となっています。本校では、教職員の正規の勤務時間を8:10～16:40と定めていますが、この時間で仕事をすべて終わらせることは至難の業で、ほぼ毎日、超過勤務の状態となっています。

兵庫県教育委員会及び加東市教育委員会では、教職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現にむけ、これまでから、市内すべての学校で週1回以上の「教職員定時退勤日」の実施を推進しています。本校では毎週木曜日を「教職員定時退勤日」と決めて、遅くとも午後6時には全教職員が退勤することとしています。（もちろん、緊急対応時は例外です。）さらに、昨年度からは、加東市立の全小中学校で、お盆の期間（8/13～15）の平日を「学校閉校日」としています。その際、子どもに関係する事件や事故等、緊急時は加東市教育委員会が窓口となり、学校管理職に連絡をとることになっていますので、ご安心ください。

教職員が精神的なゆとりを持って、一人一人の児童に向き合うことができる環境づくりを進めていますので、皆様のご理解をよろしく願います。



ロゴ：内閣府HPより